

一 読み

/12

二 画数

/4

三 送り

/5

四 構成

/6

五 部首

/6

六 対義

/6

七 同音

/7

八 誤字

/7

九 四字

/6

十 書取

/12

合計

/71

合格のめやす
50問(7割)

一 線の漢字の読みを、ひらがなで書きましょう。

① ゲームの敵をたおす。

てき

② 蚕をそだてる。

かいこ

③ 地図で緯度を調べる。

いど

④ これは重要な話だ。

じゅうよう

⑤ 川に大きな橋がかかっている。

はし

⑥ どうぶつを保護する。

ほご

⑦ ひざに傷ができた。

きず

⑧ 二つの数を比較する。

ひかく

⑨ 畑に薬剤をまいて虫をふせぐ。

やくざい

⑩ 小麦粉でパンを作る。

こな

⑪ きょうは顔色がいいね。

かおいろ

⑫ 市販のノートを買って勉強する。

しはん

二 次の漢字は、何画で書きますか。数字で書きましょう。

① 礼

5

画

② 比

4

画

③ 元

4

画

④ 率

11

画

三

——線のことばを、漢字一字と送りがなで書きましょう。

れい

くるまがとまる。

止まる

① あたらしいくつで学校へいく。

新しい

② 音楽がすきだ。

好き

③ つぎのかどを右にまがる。

曲がる

④ 友だちに花たばをおくる。

贈る

⑤ 包帯をまく。

巻く

四

次の熟語の組み立ては、「」の「ア」「エ」のどれにあたりますか。記号で書きましょう。

ア 同じような意味の漢字を組み合わせたもの(れい 岩石)

イ 反対や対になる意味の漢字を組み合わせたもの(れい 左右)

ウ 上の漢字が下の漢字をくわしくしているもの(れい 青空)

エ 下の漢字が「くを」「くに」にあたるもの(れい 読書)

① 倉庫

ア

② 厚薄

イ

③ 恐怖

ア

④ 価格

ア

⑤ 永久

ア

⑥ 防寒

エ

⑤ 押 おす 才 (てへん)
 ④ 働 はたらく ③ 気候 こう イ (にんべん)
 ② 招 まねく ① 技術 ぎじゆつ 才 (てへん)
 休 やすむ れい イ (にんべん)

五 部首がつく漢字を□に書きましょう。□の右は読みです。

⑥ 握 にぎる 六 反対の意味のことばを、「[からえらんで漢字で書きましょう。]

れい 大きい ⇄ 小さい
 「たかい ちやくい れいがい はは しゅうばん おしえる」

① 習う ⇄ 教える
 ② 父 ⇄ 母
 ③ 原則 ⇄ 例外
 ④ 脱衣 ⇄ 着衣
 ⑤ 序盤 ⇄ 終盤
 ⑥ 安い ⇄ 高い

七 次の——線のカタカナを、漢字で書きましょう。

① 走るキヨ離をものさしではかる。

距

② 自己ショウ介をして席にすわる。

紹

③ 答えがまちがってチガう。

違

④ セイ名をていねいに書く。

姓

⑤ カン視員が子どもたちを見守る。

監

⑥ エン筆でノートに絵をかく。

鉛

⑦ この時計は少しクルっている。

狂

八 次の文には、同じ読みのもちがった漢字が一字あります。誤字と正しい漢字を、右と左の口に書きましょう。

① 毎朝六時に起消する。

消

正

床

② 先生に図書室の本を飲められた。

飲

正

勧

③ 事故の内容を商細に説明した。

商

正

詳

④ 工事の総音が大きくて、勉強に集中できない。

総

正

騒

⑤ 次の向目に答えなさい。

向

正

項

⑥ 長い間、苦悩した末に進学先を決めた。

悩

正

悩

⑦ 美しい色採の絵をかいた。

採

正

彩

九

意味を読んで、□に入る漢字を書き、四字熟語を完成させましょう。

① 付和 **雷同**

自分の考えがなく、人の意見にすぐしたがうこと。

② 臨機応 **変**

その時その場にあわせて、やり方をかえること。

③ 難 **攻** 不落

せめるのがむずかしく、なかなか落とせないこと。

④ 本末 **転倒**

大切なことと、そうでないことが、ギャクになること。

⑤ 不 **言** 実行

くちに出さず、だまつてやるべきことをおこなう。

⑥ 信賞必 **罰**

てがらには必ずほうび、あやまちには必ずばつを。

+ — 線のことばを、漢字で書きましょう。

① きょうい的な記録をつくる。

驚異

② しんぞうのうごきをしらべる。

心臓

③ すいどうかんがこわれて水が出た。

水道管

④ この部屋はいっぱんの人は入れない。

一般

⑤ きょうはしゆくじつで学校は休みだ。

祝日

⑥ 校庭を全力でかける。

駆

⑦ かごしまけんは九州にある。

鹿児島県

⑧ おみやげに北の国のちんみをもらった。

珍味

⑨ あさからあめがふっている。

雨

⑩ おきあいであめをとる。

沖合

⑪ 図書室で本をへんきやくする。

返却

⑫ 話をうたがう。

疑

